

IUHW 27号

The gazette of International University of Health and Welfare



夏の国際医療福祉大学

特集

ケニア特集・・・ケニア奮闘記他
理学療法世界大会(WCPT)



発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線8116
ホームページアドレス <http://www.iuhw.ac.jp>

世界を行く

ケニア奮闘記

昨年4月より、ケニア国医療技術教育強化プロジェクトの一環として種々の国際交流活動に参加する機会に恵まれ、ケニアの教育従事者と公私ともに楽しく交流する事が出来た。

活動内容は、上記プロジェクトの国内委員の一員として種々のプロジェクト方針の決定に参画することも活動の一つではあったが、ケニアに於ける本プロジェクトのカウンターパートである KMTC (Kenya Medical Training College) の教員研修員に対して本学で2ヶ月間 Computer Technology に関する研修を行った。研修の合間にケニアと日本の文化に関するディスカッションが出来たことは有意義であった。

また、昨年11月ナイロビで KMTC の教員に対しての Middle Level Man Power Training Course において、コンピュータを利用したプレゼンテーション・スキルの講義を実施した際も多くケニアの教員と話す機会を得、彼らの旺盛な知識欲に接し、日本人も奢ることなく、知識に対する貪欲さを今一度持つべきではないかと考える2週間だった。また休日を利用してのアンボセリ国立公園でのキリマンジャロ山を背景にした雄大な風景を目にして、ケニア文化の原点を垣間見たようであった。下記に実施した活動内容を列記しておく。

- ・ケニア国医療技術教育強化プロジェクト国内委員：1998～2002
- ・KMTC 教員研修員に対する研修実施：
 - Ms. Anastasia N. Kimeu - Computer Technology (1998年4月初～5月末)
 - Mr. Hannington B. M. Kiwinda - Computer Technology (1999年3月初～4月末)
 - Mr. David A. Bwonya - Document Processing (1999年3月中～3月末)
- ・KMTC ナイロビ校に於ける Middle Level Man Power Training Course での講義 Presentation Skill using Computer (1998年11月16日～26日)

(細井良三)



JICA・ケニアプロジェクトで研修中の Mwendu さんにお聞きしました。

Q・ムエンドさん、今回の研修で学ばれたこと、感じられたこと等についてお聞かせください。

A・この大学に来る前に、東京医大で手術室看護の研修を受けました。手術も見学できましたが、日本語が分からないので、ことばの壁がなければもっと色々学べたのにと残念です。きちんとした文献が欲しかったところ、この大学に来てアメリカの看護の教科書で文献リストを見つけて、アメリカ手術室看護協会(AORN)のホームページにアクセスできて、ハッピーでした。

Q・この大学の印象はいかがですか。

A・昨日、上級英語のクラスに招かれて、英語で質問されて、ケニアの話色々して楽しく過ごしました。でも、ごく普通に英語で日本人と話がしたいです。聞けば、中学、高校で6年間も勉強しているそうですが、それと日本の人たちがとても無表情で、みんなお面をかぶっているように見えます。ケニアではちよつとバスに乗っても、見知らぬ人どうしでおしゃべりが始まります。ケニア人はとても陽気で社交的です。

Q・そつです。それぞれの国の事情とか、国民性の違いに戸惑われることは多いでしょうね。

Mエンドさん、ケニアの言語状況についてお話願えますか。

A・ケニアには、42の部族があつてそれぞれ独立した言語があり、共通語としてスワヒリ語があります。初等教育はスワヒリですがそれ以上となると英語です。私は3歳から英語をしゃべっていました。Q・すごいですね。つまり3つの言語を日

常のコミュニケーションに使い分けているわけですね。ところで、ご家族は。

A・息子が3人、長男が18歳、一番下が12歳です。

Q・それは大変ですね。確か、ケニアにはダウリー(持参金、または日本の結納金)が男性側から、新婦の親に払われると聞きました。どう思われますか。

A・これは結婚して家を離れる娘さんをお家で育てたご両親に対する、感謝の気持ちを表すものから、もちろんそうするのが当然です。息子を持った親の義務ですし、私も3人の息子のために準備しています。

Q・日本の食生活はいかがですか？何かお国のもので今食べたいなと思われるものがありますか。

A・辛い私は何でも食べますので、特にありませんが、ケニアで常食のウガリは食べたいですね。これはトウモロコシの粉を熱湯でこねてつくるお餅のようなもので、ミートソースやシチューといっしょに食べます。美味しく、おなかの保ちもよいのです。それと何と言つても、種類も、量もたくさんある新鮮な果物ですね。Q・お話を聞いていただけで、いいおいがしてきそつです。色々ありがとうございます。 (文責 池松裕子 宮尾洋子)



WCPT 学会報告

去る5月23日(日)から28日(金)まで横浜のパシフィコ横浜で第13回WCPT(世界理学療法連盟学会)が奈良勲学会長(広島大学)、丸山仁司総合実行委員長(国際医療福祉大学)のもと” Bridging Culture(文化を超えて)”というテーマで開催されました。



写真左上：総合実行委員長として大活躍した丸山仁司PT学科長

5月23日(日)の夕方に開会式と歓迎レセプションが開催され、天皇陛下の御臨席を賜りました。学会は、聴衆の期待通りに会場を湧かせた丸山学科長の開会宣言に始まり、レセプションでは高木理事長も陛下からお言葉を賜れました。

総参加人数は5000名を超えて海外からの参加も約80ヶ国、約1000名にのぼり、まさに国際色豊かな学会となりました。国際医療福祉大学からは17題と多数の発表がなされました。

学生の参加も多く、当大学からは約100人にのぼりました。発表会場で積極的に質疑応答に参加したり、学会登録、お土産コーナーでのボランティアを通して日頃の英語の学習の成果を遺憾なく発揮したりと、学会を大いに盛り上げてくれました。

(久保 晃)

参加学生の声

1999年5月23日午後5時。“Now open!!”と力強い雄叫び。会場全体が丸山学科長の素晴らしい開会宣言にすっかり魅了されました。そして第13回WCPTの幕が開きました。翌日からは、世界各国の研究発表が各会場で行われ、展示会場では医療機器の展示や書籍コーナーなどがあり、賑わっていました。この会場にいる人たちは皆PTだと思ふと、とても不思議な気分になりました。こういう機会は滅多にないので、ゆかた姿で世界中のPTといろいろ話してみました。英語力不足を痛感しましたが、そう感じていたのが私だけではなかったことにほっとしました。歩きすぎて足が痛くなりましたが、同時に得たものも多い学会でした。海外からの参加者も“Excellent!!”という感想が多く、とても満足しているようでした。機会があれば4年後のスペインでの学会にも参加してみたいと思います。(PT学科4年 佐久間加代子)



ボランティアとして国際交流に貢献したPT学科の学生たち

おしらせ

同窓会

第2回同窓会「マロニエ会」役員会開催される

6月19日(土)第2回同窓会役員会を開催しました。会議の中では、入会の現状報告および今後の活動について話し合われました。

活動として、卒業生名簿の作成・発行、マロニエ会会報の作成・発行、各学科同窓会への資金援助、各支部会(地域ブロック単位)の立ち上げおよび運営のための資金援助、講演会の開催等を行っていくことを再確認しました。

卒業生にとって有益な会になるよう役員一同がんばっております。(奥村隆彦)



学生課

掲示板や学生生活の手引きをよく読みましょう

先日、駐車場登録の現場での確認を行いました。その際改めて気付いたのは学生の皆さんが掲示板等を見ていないことです。単なる未登録に留まらず、これに先立って行われた交通安全講習会の開催さえも知らなかった人が相当いました。交通事故が増えてきていますので、講習会は是非出席して下さい。これらはほんの一例ですが、大学では連絡は掲示で行われていますので掲示板を毎日見て下さい。それからもう一つ、「学生生活の手引き」も十分に読みこんで下さい。



「マロニエ会」役員の方々

イングリッシュ・イブニング

語学教育センター・英語科主催のイングリッシュ・イブニングを下記の要領で行います。学外からの参加をお待ちしております。年齢、経験を問わず、参加者全員で「英会話を楽しむ夕べ」にしたいと思えます。

日時：7月28日（水） 29日（木） 30日（金）
18：00～20：00（最終日は20：30まで）
テーマ：「余暇を楽しむ」
場所：国際医療福祉大学 LL教室等
参加費：2000円（教材費と茶菓代）
定員：60名（上級、中級、初級、各コース20名）
申し込み：0287-24-3000 総務課企画係
月曜日～金曜日 9：00～17：00

人間中心の大学を考える会

「人間中心の大学を考える会・講演会」で、中嶋宏・国際医療福祉総合研究所所長が講演を行います。

来る7月29日（木）午後2時より、本学管理棟2階のレセプションルームで、中嶋所長の講演会が開かれます。すでにご存知のように、中嶋所長は本学研究所就任以前はWHO（世界保健機関）の事務局長という大役を担っておられました。講演では、生い立ちから自分が国際機関に従事する動機、WHOの活動内容と裏での苦勞等、貴重なお話を伺う予定にしています。

夏休みの期間に入りますが、人間中心の大学を考える中で、中嶋所長のお話を多くの教職員・学生の方々の参考として頂くようご案内します。

（矢野 聡）

図書館

新図書館長

看護学科長、荒井蝶子先生のあとを受けて6月1日より図書館長に就任いたしました。教員はもとより学生諸君の要望に応えるべく、図書委員、図書館職員一同全力を尽くしたいと思いますので、忌憚のないご意見をどしどしお聞かせ下さい。

平日の開館時間は9：00～23：00で、一日平均約1400人が利用しています。くれぐれも他人の迷惑にならぬよう特段の配慮をお願いします。

（飯沼一浩）



部会・委員会報告

国際部

JICA/ケニア医療訓練カレッジ・プロジェクト

Ms. Mueni Muendo（看護学部教員）が、東京医科大学での研修を終えて6月21～30日に来学、主として看護学科でまとめの研修を受け、また、国際医療福祉病院、大学クリニック等を見学しました。

WHOフェロー・中国衛生部職員の来学

7月1日、WHO西太平洋地域事務局のフェローとして、中国衛生部の張朝陽・副局長、林岩・医療管理課長、何雅如・計画課員の3人が、特に本学のリハビリテーション分野の大学院教育視察のため来学、初山泰弘大学院長およびPT、OT、ST各学科長から説明を受けました。（長谷川豊）

教務委員会

「関連職種連携論」でお互いの専門性を学びましょう

保健学部1年生対象の新カリキュラムにおいて、前期に「関連職種連携論」が開講されています。この科目は、本学が7つの専門職教育をめざしていることから、各専門職の知識・技術の概要と連携について学ぶことがねらいです。これまでは、病院・施設管理職、医師、看護婦（士）・助産婦、作業療法士、理学療法士、診療放射線技師、社会福祉士等、言語聴覚士のそれぞれの専門技術の概要と技術連携について、各専門分野の教員が交代で教壇に立ち講義を行いました。今後は、医療領域における連携、地域の保健医療福祉計画、保健福祉領域の連携等の講義を経て、最終回はパネル討議を行う予定です。毎週水曜日・5時限・F-101で行っておりますので、可能であれば他の学年や教員も出席して、質問や意見を述べ合い、1年生の専門職教育への理解に拍車をかけていただければ有難く思います。なお、本科目は、総合教育センターの三井教授が授業の全体調整と、科目担当教員になって下さっています。

（杉原素子）

国際交流委員会

(1) 99年夏の国際ボランティア・研修活動の概要を6月10日付けで発表、参加者募集をしています。

ベトナム・チョーライ病院でのボランティア
アメリカ・プロビデンス病院でのボランティア
中国・リハビリテーション研究センターでの研修

オーストラリア・クイーンエリザベスセンターでの研修・ボランティア

8月4日から は3週間、 は2週間の予定

(2) 5月26日、学長・委員会主催の「留学生・海外生活経験者の集い」が、レストラン2階で開催されました。学生約40名、留学生のホストファミリー、教職員、委員等、約70名の方々がチャイニング部のパフォーマンスを楽しみながら、和やかに歓談しました。



留学生・海外生活経験者の集い(5/26)

- (3) 5月29日、(財)県国際交流協会主催「留学生のためのガイダンス・懇親会」が宇都宮で開催され、新留学生3名と専門委員が参加しました。
- (4) 6月24～25日、文部省・小樽商科大学主催の「留学生交流研究協議会」が小樽市で開催され、山崎(統)が参加しました。(田中美子)

紀要委員会

平成11年度第2回紀要委員会を5月18日(火)、第3回委員会を6月15日(火)に開催いたしました。各学科、各センターからの委員の交替があり、平成11年度の紀要委員会は、野原功全(委員長、放・情)、中村勝(看護)、谷浩明(理学)、田川義勝(作業)、大石敬子(言語)、加藤雄二(経営)、大島實(福祉)、三井速雄(総合)、森田耕喜(総合)、千葉礼子(語学)、伊藤雅彦(臨医)の11名で行っております。

紀要第4巻の編集作業に取り掛かろうとしておりますが、原稿未着のため作業が停滞しております。ご多忙とは知りつつも脱稿の催促をさせていただきます。(野原功全)

ボランティア委員会

地域のニーズに应运

6月1日のボランティア委員会で、最近の学内のボランティア活動について情報交換を行いました。

南那須町社会福祉協議会より在宅脳性マヒ児童(5歳)の訓練介助のボランティア募集があり、継続中の3名に加えて4名が新たに参加することになった。

南金丸コミュニティセンターで実施している在宅配食ボランティア(月2回)に今年度も学生が継続参加を希望し調整を行った。

大田原市内の診療所より在宅患者の散歩などのボランティア依頼があり対応したが、先方との調整不調で実現せず。

西那須野町にある高齢者の自由なふれあいサロン“ホットスペースゆいの里”へ本学の学生をボランティアとして結び付けるコーディネート作業中。また「平成10年度ボランティア活動報告」作成の進行状況についても意見交換を行いました。

(鈴木五郎)

就職委員会

公務員受験対策講座の開催

就職委員会は、本学としては初めての“公務員試験対策講座”の開催を決定しました。

先般実施したガイダンスには、400名の参加者があり関心の高いことがわかり、東京アカデミーの主催で実施することにしました。学内の実習などの日程があり調整の結果、以下の日程で実施します。

公務員試験は、保健婦など専門職として受験する者と一般行政職として受験する者にわかれますが、共通の内容となる一般教養試験の内容を中心に講習。なお、受講料の一部について大学からの補助を検討しており、7月上旬には募集をおこないますので多くの参加を期待しています。

*実施時期 平成11年8月2日～12日

*会場 本学教室

*対象 3・4年生(先着順 130名)

(鈴木五郎)

学科・センターだより

大学院

4月から大学院修士課程(医療福祉学研究科、保健医療学専攻)が開設され42名の院生が入学しました。保健学部と同様に5分野に別れて研鑽を重ねております。保健・医療・福祉の幅広い分野の知識を修得し、21世紀の社会で活躍する専門職・研究者となるためには、競争社会で生き抜くタフさが必要ですが、同時に多くの人々と「共生」できる優しさをも備えた専門職となって欲しいと思います。大学院はまだよちよち歩きですが、来年には学び舎も完成すると聞いております。本学の新しい芽としてよろしくお願いたします。(初山泰弘)

看護学科

1年生の近況

看護学科1年生は、大学生活にも慣れてきた様子で授業中も少し私語が多くなってきました。看護技術論の学内実習では、ベッドメイキングや血圧測定などの技術の習得に苦労しながら取り組んでいます。また、基礎看護学の授業では、看護の歴史についてのグループ学習に取り組み、【看護士の歴史】や【荒井蝶子先生の生い立ち】などのユニークなテーマを選んで発表しています。この那須の自然の中で、今後の学生生活を有意義に過ごし、多くの事を学び、体験し、視野の広い豊かな人間性をそなえた看護職者に育ってくれることを願っております。

(豊嶋三枝子)



理学療法学科

入学、進学し早3ヶ月が経ち、大学生活も各学年臨床実習に勉強に忙しくなりました。そんな中5月22日に行われた運動会では、理学療法学科の特徴でもある団結力と体力でみごと優勝。また、5月23日から28日に開催された世界理学療法連盟学会では学生ボランティアとして受付、日本ブースでの紹介などをお手伝いしてくれました。大学で学んだ語学力を発揮し、世界の理学療法士に接するとともに各国の理学療法の現状を学生自身の目からみることが出来たことと思います。これからも、色々なことを頑張らしましょう。(石井恵美)

作業療法学科**夏休みまであと少し**

七夕も終わり、前期試験まであと少しです。夏休みを心ゆくまで楽しむためにも頑張ってください。

那須の夜空に流星群がくるのもあと少し。ドライブに出かけるのも良いかも。ただし若葉マークさんは運転に十分気をつけて！

夏休み明けには臨床実習が待っています。体調を整えて万全の準備を！！(久保田清子)

言語聴覚障害学科**同窓会「おおるり会」発足**

第1期生が卒業し、言語聴覚障害学科同窓会「おおるり会」がめでたく発足しました。大瑠璃(オオルリ)は栃木県の県鳥で、卒業生が全国各地に飛び立っていくようにとの願いがこもっています。早速、記念すべき第1回ニュースレター「ことのは」が発行されました。今年の夏には第1回の卒後研修会が開催されます。7月31日から「ハートピアきつれ川」にて、症例検討や西尾先生の講演等を行う予定です。今後の同窓生たちの活躍がたいへん楽しみです。在校生が後に続いてくれることを願っています。(菅野倫子)

放射線・情報科学科

第44回全国診療放射線技師教育施設協議会が、6月11、12日に弘前市で開催されました。文部大臣指定校25施設、厚生大臣指定校13施設の各施設から平均2名の参加があり、本学から金場先生と飯沼先生が参加いたしました。今年度の議題として国家試験の年度内合格発表や指定規則の大綱化、学生定員の遵守の通達文などが取り上げられました。

今年度からは学部学生に加えて大学院生や研究生が加わり、学科内は種々の賑わいをみせております。1年生には新カリキュラムがスタートしております。第4回運動会は残念ながら優勝を逃しました。(野原功全)

医療経営管理学科**ゼミナールいよいよ開始**

実践的学習を目指す当学科では、3年生4年生に一貫したゼミナールを必修としています。教員ごとに10名前後の学生が集まり、2年間外国書の講読を含めて、ミッチリ学習することが狙いです。3年次夏休みの4週間の実習とも関連づけて少人数教育の利点、教員との個人的触れあい、学生相互の共同作業などの機会を増やすことなどを目的としています。進め方はゼミによって異なりますが、学生の積極的参加姿勢を向上させたいと希望しています。(紀伊國献三)

医療福祉学科**経験と緊張の夏本番**

やや古い話。5月の運動会、医療福祉学科は総合3位。まずまずの成績、お疲れさまでした。来年は盛り返そう！

現在、1年生は、施設見学へ出かけている時期。様々な現場での社会福祉の専門職の働きについて、学んだことが多くあるはず。今後の勉強に大いに役立ててください。2年生は、面接等があり来年度の実習について、考え始めている時期。読み、聞き、いろんな人に相談して、自分の関心や問題意識を整理しよう。3年生は、初めての現場実習直前、緊張が高まりつつある時期。意義あるものにできるよう頑張ってください！

試験のあとは楽しい夏休み。怪我や事故に気を付けて、有意義に過ごしましょう！(本多 勇)

語学教育センター**前期で終了の3・4年生選択英語**

選択英語は週2回の授業、しかも5時限が6時限。英作文・英会話への意欲に燃えた学生でも、なかなか大変な科目です。それでも今年は3・4年生あわせて70名余りが終了しました。7月7日、受講者の頑張りを労い、ささやかなパーティーをしました。1人1人マイクを片手に生き生きと英語で挨拶する姿を見て、教員としても充実感を味わったひとときになりました。今年で3号目になる英字新聞も読み応えのある記事が満載です。読んだ感想など聞かせてください。とても嬉しく思います。では、Enjoy your summer vacation!



(南井紀子)

基礎医学研究センター**基礎医学について**

基礎医学とは、とくに学生さんにとって馴染のうすい表現かも知れません。内科系、外科系など臨床医学に対応する体系で、大別すると3分野が含まれます。

正常の構造と機能を研究・教授する学問：解剖、生理、生化学。臨床の基礎的医学：薬理、微生物、免疫、病理学。および社会医学：衛生、公衆衛生、法医学などからなります。

教育の内容には、co-medicalの臨床に貢献するように絶えず、腐心しています。教育内容にご提言があれば、是非お寄せいただきたいと思います。(飯高和成)

健康管理センター

クリニックでは、内科の常勤として呼吸器科の大久保先生、消化器科の米田先生を迎え、また外科系の常勤には、整形外科の鈴木先生、泌尿器科の山本先生、耳鼻咽喉科岩本先生、松永先生を迎え、4月から、都築教授が新たにセンター長に就任され、スタッフも充実してまいりました。外来では整形外科が水曜日を除く週5日間、耳鼻咽喉科が、月、火、水曜日と木、金曜日の午前中、泌尿器科は月、土曜日と水、木曜日の午後診療しております。また病床も

19床あります。自己の健康管理、人間ドック等教職員、学生の方々も気軽に御利用下さい。

診療科目

内科（一般内科，消化器内科，呼吸器内科，循環器内科，血液内科，神経内科，腎臓内科）、小児科（小児科，小児神経科）、アレルギー科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、精神科（精神保健相談）、歯科（佐々木龍平）

教員紹介

毎号、各学科・センターから一名ずつご紹介頂きます。所属・職位 生年 出身校 専門分野 直前の勤め先 主要著書又は論文どちらか1点 本校における担当科目 趣味

茅島 江子（カヤシマ キミコ）



看護学科・教授 1951年
千葉大学教育学部特別教科（看護）
教員養成課程
母性看護学・助産学
山形大学医学部看護学科
「性周期と情動ストレス負荷による精神生理学的反応」母性衛生36-1、1996年
母性看護学、助産学、研究、看護援助学
歌うこと（歌謡曲からシャンソンまで）、スキー（蔵王で17年ぶりに滑ってから復活）、サッカー観戦（ワールドカップから病み付きに）

針谷 達志（ハリガイ サトシ）



医療経営管理学科・教授 1930年
早稲田大学大学院商学研究科博士課程満期退学 病院会計学
朝日大学 市民生活会計（共著）森山書店 医療経営会計学、病院経営分析論 著

丹羽 敦（ニワ アツシ）



作業療法学科・助手
1964年
北九州大学外国語学部英米学科
身体障害（地域）作業療法
柳川リハビリテーション学院
実習等 ゴルフ等スポーツ

本多 勇（ホンダ イサム）



医療福祉学科・助手 1972年11月
専修大学文学部、東洋大学大学院社会福祉学専攻 社会福祉学・高齢者福祉

なし（実習や国試準備等の助手）
温泉、スキー、楽器演奏（ドラムス、ベース、フォークギター）、ドライブ、会食すること（？）勉強（？）。神奈川県人会があったら是非誘って下さい（大和市出身・相州健児です...）

大久保 隆男（オオクボ タカオ）



臨床医学研究センター・教授
1932年
東北大学医学部医学科、東北大学大学院医学研究科（内科学第一）
内科学、呼吸器病学、アレルギー病学、老年医学 横浜市立大学医学部（内科学第一講座、現：名誉教授）

大久保隆男、泉孝英監訳：気管支喘息の診断と治療 - NIHガイドライン - 1993年、医学書院（東京）
内科学、医学概論 クラシック・オーディオ

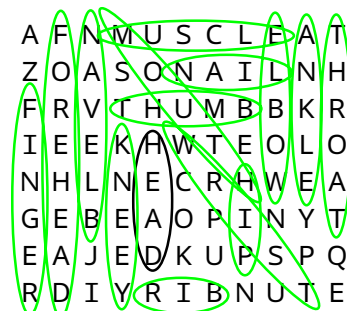
第14回IUHWクイズ当選者発表

クイズにたくさんの応募をいただきありがとうございます。正解者は24名でした。厳正な抽選により足立典子さん（看護4年）がIUHWクイズ第14弾の当選者に決定しました。当選者は学生証を持参の上、事務局まで来て下さい。正解は以下の通りです。

解答 例 頭

1指	6足首	11口
2額	7のど	12肋骨
3へそ	8手首	13親指
4筋肉	9ひざ	14腰
5つめ	10ひじ	

以上のうち13個以上答えたものを正解としました。



学生活動あれこれ

ST学科オリジナルTシャツを学長に贈呈

言語聴覚障害学科では、オリジナルTシャツを作り、大谷学長に贈呈しました。

きっかけは5月の運動会での惨憺たる成績。学科の団結を強めようと、伊藤学科長の音頭とりで学生主体のTシャツ委員会を設立。公募で集まったデザインをもとに、今どきの若者のハートをつかむユニークなTシャツが出来上がりました。

実は、Tシャツ委員長の田中康博君(2年)はファッション界ではちょっと知られた存在で、全国誌にも紹介されるほど。最近では県内の高校生といっしょにファッションショーを開いたりもしています。彼の作品はなかなかの人気なのだそうです。

STを目指す田中君いわく、「ファッションもコミュニケーションツールの1つ」。確かに。学生たちがファッションを楽しみつつ学業に励み、心豊かなプロフェSSIONナルになってほしいと、切に願っています。(飯塚直美)



オリジナルTシャツを手にした大谷学長(中央)と伊藤学科長(前右)、Tシャツ委員の学生達

リレーエッセイ

テレビのない生活

医療経営管理学科 加藤尚子

時々学生から、「テレビがなくて寂しくないですか」と聞かれるので、テレビのない生活について書きます。これまで度々転居しましたが、その幾度かはテレビを買わずじまいでした。普段は必要と思わず暮らしていても、大事件が起こったりしてテレビがとても見たくなくなることがあります。そう言えば今から10年前の6月、中国で天安門事件が起こった時もテレビのない暮らしをしていて、事件の進捗状況が気になり毎朝駅の売店まで新聞を買いに行ったり(当時は新聞も取ってなかった)、スーパーの家電売場のテレビニュースに釘付けになったりしました。

ただ、テレビのない時の方が街で一瞬見かけた映像が鮮明に印象に残ったり、自発的に情報を集めようとするのでよく記憶していたり、するようないつもします。あと、映画館で見る映画によりいっそう感動できます。まあ今は、テレビがなくてもパソコンがあるから平気です。

次回執筆: 福原和子先生(語学教育センター)

編集後記

本号をごらんになって、「おっ、変わったな」とお思いになった方が多いのではないのでしょうか。

IUHWも5年目に入り、様々な情報をより表現力豊かにお伝えしていこうと、25号から表紙がカラーに、そして、この27号からは誌面のレイアウトなど編集作業の大半を学内の情報メディア室が担当することになりました。

内容も、本学の特色である国際協力・国際交流活動や、学生のユニークな活動をどんどんご紹介していきたいと思います。皆さんからも、どしどし情報をお寄せください。

インターネットのホームページにも本誌が公開されています。是非、のぞいてみてください(幻の第1号も読めますよ)!(飯塚直美)

情報メディア室からのお願い

今回より編集に携わることになりました情報メディア室です。情報メディア室では今後、本誌IUHWとホームページの充実をより一層計るため、広く皆様から情報をお待ちいたしております。本校J棟1階に情報メディア室がございますのでお気軽にいらして下さい。

IUHW クイズ 第15弾

賞品はなんと旅行ギフト券(8000円分)!

解答を記入して事務局窓口外側のメールボックスへ投入するだけ。正解者多数の場合は抽選で1名の方に旅行ギフト券をプレゼント。応募資格は本学の学生で、1人1通、〆切は9月20日です。

下の に漢字を入れて、4つの熟語をつくりましょう。

キリトル

学科	_____
学年	_____
名前	_____
解答	1 _____
	2 _____
	3 _____

安	事	酒
静	健 実	文 受 進
当	外	巧